

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)6月15日 No.1093

目次

1998年前半のロシア石油業界の動き	坂口泉 1
統計速報	10
1998年1～4月のC I S諸国の経済	10
データフラッシュ	10
1999年エクスポセンター主催モスクワ国際見本市のご案内	11
C I S諸国通貨の最新為替レート	11

1998年前半のロシア石油業界の動き

はじめに 最近ロシアの石油業界では、ロスネフチの民営化の失敗、ユクシ設立計画の頓挫等、いくつかの大きな出来事が起こっている。原油の国際価格の低迷を反映してか、どちらかといえば暗いニュースの方が圧倒的に多いが、将来に希望を抱かせるような明るい兆しも存在する。一般にどの情報媒体においても暗い側面が強調されがちなので、本レポートでは、敢えて、明るい兆しに留意して記述を進めることとする。

とはいっても、その話題性および重要性からみてロシア石油会社の民営化問題およびユクシ問題には言及せざるを得ないので、まず、この2つの問題から記述を始めることとする。

1. 失敗続きのロシア石油会社の民営化

周知のとおり、ロスネフチの国家保有株75%プラス1株を対象とする第1回目の投資義務付き競売は不成立に終わった。その他、ロスネフチの株の競売の前に実施された2つの石油会社(チュメニ石油会社およびスラヴネフチ)の国家保有株を対象とする競売も不成立に終わっている。これらの競売の不成立の最大の理由のひとつは、一般に言われているとおり、原油の国際価格の低迷であるが、その他、各競売を不成立に導いたいくつかの個別の「事情」が存在する。ここでは、それらの個別の「事情」にスポットを当てながら、各競売を振り返ってみたい。